

2024年  
10月29日(火)  
14:00~17:00

参加  
無料

## 会場

エコプラザセミナー会場及び、「ZOOM」ウェビナー

※おおさかATCグリーンエコプラザ セミナールーム

## 定員

50名(エコプラザ)、100名(オンライン)

14:00~14:05

**開会挨拶** おおさかATCグリーンエコプラザ

14:05~14:15

**都市(まち)の木造化推進法(林野庁)の解説**

藤本 和富(一般社団法人 エコビジネス推進協会 専務理事)

14:15~15:15

**普及型木造ビル「高知モデル」(コレモク)の紹介**

北添 幸誠氏(一般社団法人 高知県木材協会)

15:15~15:30

**質疑応答**

15:30~15:40

**休憩**

15:40~16:20

**CLTを活用した木造建築の紹介**

吉田 晴彦氏(株式会社 三東工業社)

16:20~16:50

**フリーディスカッション**

16:50~17:00

**閉会挨拶**

貴島 清美(一般社団法人 エコビジネス推進協会 代表理事)

渡邊 太郎

(SDGs環境ビジネス分科会 木材活用・森林保全部会 部会長)

主催: おおさかATCグリーンエコプラザ実行委員会  
(大阪市、アジア太平洋トレードセンター株、日本経済新聞社)

協力: 一般社団法人 エコビジネス推進協会、関西SDGsプラットフォーム  
(SDGs環境ビジネス分科会 木材活用・森林保全部会)

SDGsのゴール7、13のゴール達成はエネルギーの循環利用の加速を促しています。経済産業省の作成した「2050カーボンニュートラルグリーン成長戦略」の14のセグメントの内「食料・農林水産業」の中には、特に二酸化炭素の吸収には森林の保全により、人工林の「伐って、使って、植える」の循環利用を確立し、エリートツリー等を活用した再造林や、木材利用の拡大の促進が求められています。これらの目標実現の具体的な施策として木質建築部材の開発・工法の標準化等を図り、2040年までに高層木造の技術を確立するとしています。今回のセミナーでは木造建築の「高知モデル」に焦点を当てその普及型木造ビルの「コレモク」の全国的な共有化を目指すことで、広く脱炭素化に貢献できると考えています。併せて広く、木造建築に活用されているCLTを活用した木造建築設計についてもご講演頂きます。

# 脱炭素化に貢献する普及型木造ビル 「高知モデル」(コレモク)の共有化セミナー

ホームページからお申し込みください

<http://www.ecoplaza.gr.jp/seminar/>の対象セミナーページから  
必要事項をご入力の上、申込みください。

※お申し込みについて…こちらのセミナーにお申し込みいただくには会員登録が必要です。  
一度会員登録していただきますと、会員限定セミナー申込時の情報入力の手間が省けます。



おおさかATCグリーンエコプラザ

〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ITM棟11階

最寄駅: ニュートラム

トレードセンター前駅直結

<https://www.ecoplaza.gr.jp>

ATCグリーンエコプラザ

検索